

第1回 世田谷区本庁舎等における区民利用・交流拠点施設 事業運営委員会区民活動・交流部会及び文化・芸術部会			
開催日時	令和8年5月12日（火） 午後6時30分 ～午後8時30分		場所 梅丘パークホール
出席委員 （敬称略、五十音順）	委員	中間支援組織	尾崎委員、川島委員、菊地委員、松下委員
		区内活動団体	石山委員、河上委員、村井委員
		学生（若者）	酒井委員
		行政	伊藤委員、大谷委員、望月委員
欠席委員	池田委員		
事務局	市民活動推進課		榎本係長、杉藤、工藤
	運営事業者		上遠野施設長、本田副施設長、福永栗本、佐藤、山下、松下
議題	（1）報告案件 ①準備会から委員会への引継ぎ事項 ア．施設運営にあたっての確認事項 イ．準備会での主な議題 ②開設までのスケジュール及び部会での主な議題について ③4月7日事業運営委員会の報告 （2）審議案件 ①オープニングイベントの企画（参画）検討、全体振付 ②利用憲章（案）検討 ③オープニングイベントでの課題解決テーマ設定の具体化 ④広場のマルシェに使用するシェード作成 （3）次回の日程等		

(1) 報告案件

○部会開催背景：

準備会は令和8年度から事業運営委員会へと移行し、11月3日（火祝）のグランドオープンに向け準備を進めている。

事業運営委員会と連動・協力しながら部会でも準備を進めることで確認を行った。

○部会の主要な役割を、委員全員で以下の通り確認した。

- ・施設の魅力と繋がりを高め、利用を広げるための企画支援を行う。
- ・施設の利用状況把握と課題・活性化策の検討をする。
- ・部会メンバーのネットワークを活かした参画体制の拡大を図る。
- ・運営事業者への助言と方向性の提示を行う。

①準備会から委員会への引継ぎ事項

伊藤市民活動推進課長から説明を行い、準備会から事業運営委員会への引継ぎ項目について、以下の通り全委員で認識を共有した。【資料No.3、4】

ア. 施設運営にあたっての基本確認事項

【場づくりに関する事項】

No.1：原則無料・予約不要・営利可能な場づくり

No.2：定期的かつ魅力的なイベントの実施・気軽に立ち寄れる場づくり

【運営方法に関する事項】

No.3：柔軟に見直し（トライ&エラー）が可能な施設運営

No.4：チャレンジ・バージョンアップ・マッチング

【成果・交流に関する事項】

No.5：区民、団体、区職員がオープンな活動に参加し、交流や協働を育み、課題解決に寄与

No.6：区及び運営事業者が中心となって、区民、団体、区をつなぐ

イ. 準備会での主な議題

○施設の位置づけ、機能

令和6年12月から令和8年2月まで計5回開催した準備会で議論している内容について、配布資料4に記載されている旨説明。

②開設までのスケジュール及び部会での主な議題について【資料No.5】

本田副施設長から説明を行い、区民利用・交流拠点施設開設までのスケジュール及び部会での主な議案について、以下の通り全委員で認識を共有した。

1. オープニングイベント期間における公用予約及び参加表明団体の開催希望内容を確認した。

2. オープニングイベント参加団体交流会開催

・開催日：2026年4月26日（日）13：00～

・交流会参加団体数：20団体、参加者25名

（※オープニングイベント参加希望団体数：交流会時点で30団体）

・参加団体が自ら企画を提案し、施設全体で協力しながらイベントを作り上げる体制の検討を行った。

・6つのテーマグループに分かれて意見交換を実施した。

3. オープニングイベント実行委員会の提案

・事業運営委員会及び参加団体より実行委員会設置の要望があったことを受け、実行委員会の活動イメージについて説明を行うとともに、部会委員に対し参画を依頼した。

（２）審議案件

本田副施設長、マッチングコーディネーター福永氏から審議内容について説明を行い、各案件について委員と意見交換を実施した。

審議①：オープニングイベントの企画（参画）検討、全体振付及び・意見交換で見えた課題

○オープニングイベント期間に開催予定のイベント情報共有

- ・生涯現役フェスタ（１１月４日（水））について河上委員より説明。

集客目標：７００人以上

平日初日のイベントとして、１１時～１９時で実施

著名人によるトークショーを１３～１５時に開催

約４０団体によるブース紹介と展示

イーグレットホール（９００人収容）、エントランスホールを使用

- ・文化的協働演奏会（期間中複数開催）について大谷委員より説明。

世田谷アーティストバンク登録アーティスト（クラシック中心、３１組）による演奏
団体同士のコラボ演奏会（１１月２３日（月祝）に３組程度が参加意向）

ラウンジ等様々な場所での演奏

第１０回世田谷国際メッセ・ホストタウンコンサート（１１月１３（金）～１４日（土））

区内大使館・国際交流団体による出展、アメリカに関連するジャズやゴスペルコンサートの実施、文化と国際の取り組みの融合を予定している。

○委員からの区民利用・交流拠点開設に対する意見及び事務局からの回答・要望・課題は以下の通り。

１．意見

- ・汽水域の外側の人たちをどのように巻き込むのか。近隣住民への関わり方。

（回答）交流拠点に関わる間に施設を好きになり、社会参加しているというイメージ。具体的な手法は部会にて議論したい。

- ・区役所周辺の商店街や大学のイベントとコラボできるものがあるかもしれない。

（回答）区役所近隣で開催されるイベントとのコラボも考案しており、実行委員会での取り組み依頼となる。

- ・障害者団体は参加したい意欲はあるが、何がどのようにできるのか不明なため参加の判断がしづらい。利用できる部屋を事前に見学したい。

（回答）まずは小さい会議から施設を利用してみることも可能。施設の部屋や備品情報は世田谷区のホームページに掲載しているが、利用ルールは利用憲章検討内で完成させていくため現時点での回答はできかねる。

- ・交流拠点の利用イメージが湧かない。オープニングイベントへ参加表明をした場合、何をどのくらい準備すべきか不明であり、参加団体それぞれの実施内容などをとりまとめる人が必要ではないか。

（回答）実行委員会を発足予定としており、オープニングイベントについて詳細決定を進めていく。

- ・交流拠点の空間イメージが不明瞭なため、各部屋の詳細を教えてほしい。また平日のイベント開催時、区庁舎に来訪する方との動線を分けた方がいいのではないかと。

(回答) 交流スペース及び会議室について改めて説明。交流拠点は区庁舎に訪れた方へ開放しているが、必要に応じて動線を確保する必要があると考えている。

- ・イベント実行へのボランティア含めてスタッフ募集するツールとしてSNSを活用すると学生は情報を得やすく、参加のハードルが下がる。

2. 委員からの要望

- ・交流拠点を利用している様子を確認したい。
- ・施設オープン後に、見学ツアーを実施してほしい。
- ・オープニングイベントでは交流拠点の利用可能性が高い団体に対して、大きな内覧会としてまず見学してもらう場があればよい。

3. 審議①の意見交換で見えた課題

①交流拠点の利用傾向

- ・交流拠点の利用意向のある地域及び年代が限定的になってしまうのではないかと。

②集客とボランティア人員に関する懸念

- ・21日間の大規模イベント実施にあたり、各団体の人員確保が課題である。
- ・良い内容のイベントもうまく広報しないと来場者が増えないため、広報サポートを依頼したい。

審議②：利用憲章（案）検討

○検討背景

区民利用・交流拠点の準備会にて、利用憲章について議論を進めてきた。施設の具体的な禁止事項ではなく、交流拠点の理念や方向性を憲章とすることが重要と意見が挙がった。部会では憲章内容案や表現について、整理・検討する。

○憲章の決め方

オープニングイベント期間中、交流拠点を訪れてくれた人たちにも一緒に検討してもらい、フィナーレで発表。

○委員からの主な意見及び提案は以下の通り。

提案

- ・憲章を考えた人が示せると良い。多くの方に憲章について考えてもらうプロセスが大事。
- ・区が利用憲章を決めてしまうと「守るべき決まり」となってしまう。参加者が主体となり、多様な人の声や思いが集まって形になった憲章であることを示すことが大切。
- ・気軽に社会参加できる場をつくり、施設の魅力を感じた方が自然に憲章づくりに参加できる流れを整え、分かりやすい方向性やニュアンスを提示する必要がある。
- ・「憲章」という表現について、参加者が親しみやすいキャッチーな感じがいいのではないかと。
- ・プレーパークや遊び場開放の決まり事など、子ども目線で設定されているものを参考にするのが良いと考える。
- ・「汽水域」という言葉は難しいが、逆にクリエイティブでもあるため残した方がいいのではないだろうか。
- ・「汽水域」について説明できる人を増やしていきたい。
- ・憲章はオープニングイベントが終了後もブラッシュアップされるものと思うため、ある程度堅実な内容にする必要があると考える。

- ・交流拠点の利用に関するアイデア集を作成する。良いと思う項目を抽出し、具体的な内容にするための議論をしていく。アイデアボックスのような、みんなの思い付きを集める場所があると良い。

- ・「憲章」という言葉が固く、内容をイメージしづらいため、分かりやすい表現に言い換えるのはどうか。

- ・まずは交流拠点の目指すイメージを固めた方が良い。

- ・ユニバーサルデザインの考えも取り入れてもらいたい。

※審議③：オープニングイベントでの課題解決テーマ設定の具体化については、次回の部会での検討事項とする。

審議④：広場のマルシェに用いるシェード作成

- ・伊藤市民活動推進課長から広場でのマルシェ開催時に、日陰を作るためのカラフルなシェードを区民参加で作成したい旨の説明があった。青山ファーマーズマーケットのような雰囲気づくりが目指される。

- ・次回部会（7月）にて各委員から区民参加型シェード作成のアイデアを持ち寄り、プレゼンと審議を予定。

（3）部会での確認事項

1. オープニングイベント実行委員会の設置を決定し、事業運営委員会、部会、参加団体で構成とし、各委員と参加団体から実行委員会への参加を募る。
2. 利用憲章の構築方法として、オープニングイベント期間を活用し、参加者の意見を反映させながら協働で作成する。
3. 情報共有ツールにコミュニケーションアプリ（スラック）の導入を予定。進捗状況の随時共有を実現していく。
4. 次回区民活動・交流部会及び文化・芸術部会を7月中旬に開催し、オープニングイベントの具体的なアイデア発表の時間と広場のマルシェに用いるシェードの区民参加型作成案について石山委員をはじめ各委員よりプレゼンしてもらいたい旨を事務局より案内した。

